

# 地域の絆をつくる 子ども会



第55号

# 県子連だより

令和3年3月発行

発行元  
一般社団法人 山口県子ども会連合会

住所 山口市神田町1-80 防長青年館内  
電話 083-928-0007  
FAX 083-928-1810  
E-mail kodomo35@eagle.ocn.ne.jp

## 報告

### 山口県教育委員会教育功労者表彰 周南市子ども会育成連絡協議会 会長 萩原孝司 様

令和2年11月19日、周南市子ども会育成連絡協議会の萩原孝司会長が社会教育功労者として表彰されました。

萩原会長さんは、平成16年から16年間、周南市子連の副会長や会長を歴任され、この間市子連の礎を築かれ、県子連の理事としても各種提言により組織の活性化に尽力されました。この度、その功績が高く評価されての表彰となりました。

なお、昨年度は住田旭昭専門委員長さんが表彰されています。



## シリーズ 子ども会行事 ヒューマンサッカー



今回は、「ヒューマンサッカー」というジャンケンゲームです。子ども会活動のねらいのひとつ、役割分担による「仲間づくり」にぴったりのゲームです。

### 進め方

- ① 10人ずつの2チーム対抗で行う。  
[6人対抗も可能]
- ② 攻守に分かれます。
- ③ 守り側は4人のフォワード、3人のハーフ、2人のバックス、1人のキーパーという役割になります。それぞれ前後の感覚は2m程度とする。
- ④ 攻め側はフォワードから3m離れた所からスタートする。
- ⑤ 一斉にスタートし、第一関門の1人のフォワードとジャンケンをする。勝てば次のハーフと対戦する。負けると一度自軍の線まで戻り再度フォワードに挑戦していく。
- ⑥ 1人のハーフとジャンケンをして勝てばバックスに進む、負けると元の自軍の線まで戻り再度初めから挑戦する。
- ⑦ 4回連続して勝って初めて得点となる。  
※制限時間は1～2分攻守交替。

### 例)実施上の注意

- (1) 作戦会議を設け、キーパーの重要性を認識させる。
- (2) 指導者が具体的にやって説明する。

## 子ども会は地域の絆づくりに取り組んでいます。

●文化財愛護・伝承活動 ●《令和元年度優良団体から》



滝坂子ども会(長門市) [滝坂神楽舞]

毎年20の子ども会が山口県文化財愛護協会から活動助成を受けています。

## 計画

### 子ども会創立60周年記念事業 ～みんなで楽しむ海体験～

山口県子ども会連合会は、昭和35年12月22日に創立、令和2年に創立60周年を迎えました。そこで記念事業として「みんなで楽しむ海体験」を計画しています。

- 1 期 日 令和3年7月から9月まで
- 2 場 所 県内4ヶ所 [岩国、山口、下関、長門]
- 3 内 容 地引網やエビ狩り
- 4 参加人数 親子各50組程度
- 5 参加費 大人1000円、高校生以下無料
- 6 参加資格 子ども会会員
- 7 その他 詳細は5月頃市町子連の事務局へ要項等を配付

## 編集後記

コロナ禍が治まらず、山口県子ども会連合会では6月の総会、夏のジュニア・リーダー研修会や11月の安全啓発初級指導者養成講習会が中止となりました。

このような中でも、市町の子ども会では、毎年ジュニア・リーダーが活躍しており、県子連では高校3年生のジュニアに感謝状を贈呈しています。本年度から表彰規程をより厳しいものに改正し、高校3年生の2月に贈呈していたのを9月に変更しました。本年度は28名のジュニアが感謝状を授与されました。



## ホームページ QRコード



ホームページ「山口県子ども会連合会」で検索  
市町子連のホームページも開設是非ご覧ください

## 創立六十周年を迎えて

一般社団法人  
山口県子ども会連合会  
会長 関谷 博



新型コロナウイルス  
対応に子ども会  
関係者の皆様に  
は多大なるご苦  
勞をされたこと  
と思ひます。

こうした中、

山口県子ども会連合会は、令和二年十二月に創立六十周年を迎え、これからの子ども会活動のあり方を二年間にわたり検討し、この度「山口県子ども会長期構想実践計画『夢をかなえる』」を策定しました。

ところで、「ボットンと一軒家」というテレビ番組をご存じでしょうか。都会を夢見た若者が一旦故郷を離れますが、再度両親が遺した生まれ故郷に帰り地域と共に暮らす姿を紹介しています。このことは子ども会が昭和三十年代に誕生し、地域活動を実践した成果だと私は思います。

時代が変われど今こそ、「地域を愛する子どもの育成を子ども会活動の中核として尽力して参りたいと思います。また、山口県子ども会連合会が六十周年を迎えましたので、令和三年度は記念事業を計画しております。多くの子どもたちの参加をお待ちしております。

# 山口県子ども会長期構想実践計画図 「夢をかなえる」

単位子ども会、市町子ども会育成連絡協議会や支部等及び山口県子ども会連合会は、次の表に示している活動に留意し、「スポーツ・文化、体験、社会参加」を実践し、子どもたちに体験の場を提供するとともに、子どもと親が共に成長し、地域の繋がりを大切にしながら、「地域に愛着を持つ」子どもたちを育成しましょう。そして実践目標を「地域の絆をつくる子ども会」として活動していきましょう。



## 単位子ども会の具体的な活動内容

- 1 子どもの手による子ども会 [行事計画、歓迎会等の計画を子どもに]
- 2 人間関係づくりや三世代交流 [子ども会総会、登山、ハイキング等]
- 3 ボランティア活動 [地域清掃、なかよし募金活動、資源回収、地域行事でのバザー等]
- 4 親子が参加する魅力ある行事 [各種スポーツ大会等]
- 5 地域行事への参加 [文化財愛護、お祭りなど地域の行事等]
- 6 みんなで子育てする環境づくり [自治会の方の協力、ジュニア・リーダーを指導者]
- 7 「子ども会の存在意義」等の周知 [学校運営協議会委員の就任]

↑ ↓ ※必要と思われる活動を選んで実施

## 市町子ども会育成連絡協議会や支部等の活動

- 1 指導者・育成者等の発掘・育成 [インリーダー、J・L研、集団指導者研修会等]
- 2 親子が参加する活動 [ドッジビー等の大会、凧揚げ大会等]
- 3 行政等への子ども会の周知 [学校、自治会、老人会等。子ども会の存在意義等の周知]

↑ ↓

## 山口県子ども会連合会の活動

- 1 指導者・育成者等の育成 [安全啓発上級指導者及びジュニア・リーダー等の育成]
- 2 みんなで楽しむ事業開催 [ユース・リーダーズクラブ設立と事業の運営]
- 3 市町子連との関係密と存在意義の周知 [表彰者の計画立案、県子連だよりの配付、総会参加]



僕ウッキー 13才  
県子連マスコット

子ども会の存在意義とは  
あなたの加入を待っています。

※山口県子ども会連合会へお問合せください。

# 地域の絆をつくる子ども会



## 地域の絆をつくる子ども会とは。

質問：子ども会は青少年の健全育成のためだけに活動しているのではないですか？

回答：子ども会は青少年健全育成と地域貢献活動の二本柱を目的に活動しています。

質問：地域貢献活動が若者の定住に繋がるのですか？

回答：子ども会が地域貢献活動を行うことにより、子どもたちが地域の良さを知り、地域の大人と絆をもつことにより地域が好きになり住み続けようとしています。

質問：地域貢献活動に地域行事の参加とありますが子どもが参加する必要はありますか？

回答：地域行事に子どもが参加することは、子どもが大人になった時に引き続き行事の担い手になるということで大変重要です。

質問：子ども会活動の意義が三つ上げられていますがどういうことですか？

回答：子どもが体験を通して人間関係能力を向上、活動を通して親も親として成長、地域活動を通して子どもから大人が繋がり、絆をつくるということです。



子ども会生き生きプロジェクトY会議の様子